

評価の視点 (構造的視点)	SF	構造的横断的評価
	<p>SFはPDCAを仕組みSystemとして把握した構造的な視点を重視する。仕組みSystemと見直しFittingを横断的に短時間で評価する。福祉サービスの質の良さは仕組みSystemの良さにかかっており、仕組みSystemの良さは見直しFittingの良さにかかっている。Fittingの良さを評価する視点は関係者の意見をどれだけ反映したかという事である。SFはPDCAサイクルそのものを対象とし評価する手法である。</p>	<p>短期間で事業の仕組みを評価する</p>
マネジメントの視点 (機能的視点)	PDCA	時間的縦断的評価
	<p>PDCAは有名なマネジメントサイクルの1つで、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(act)のプロセスを順に実施する。最後のactではcheckの結果から、最初のplanの内容を継続・修正・破棄のいずれかにして、次回のplanに結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法がPDCAサイクルである。</p>	<p>一つの事業を時間軸に沿って評価する。</p>

\* PDCAの説明は情報マネジメント用語辞典を引用しました。